

問題・解答
用紙番号

39

の解答用紙に解答しなさい。

世 界 史

〈受験学部・学科〉

法学部、国際学部、経済学部、経営学部、現代社会学部、
農学部【文系科目型】(食農ビジネス学科)

問題は100点満点で作成しています。

I

中国史における文化に関する次の文章(A)～(C)を読み、あとの設問に答えよ。(40点)

- (A) この時代の儒学は、周敦頤に始まり、朱熹（朱子）によって大成されたので、朱子学ともいわれる。朱子学はその後、儒教の正統とされ、日本や朝鮮の思想にも大きな影響を与えた。経典として四書が重んじられ、華夷の区別を強調し、君臣・父子などの秩序を重視する(1) 論が盛んになった。(2) は君主の統治に資することを目的に、編年体の通史『資治通鑑』を編纂した。

絵画では、宮廷画院を中心に写実的で装飾性を重んじる(3) が成立し、その代表作には(4) 徽宗が描いた「桃鳩図」がある。他方で、士大夫層を中心に水墨画の手法による文人画も(5) うまれた。工芸では、(6) 景德鎮などで青磁や白磁といった陶磁器の生産が盛んになった。

- (B) この時代には、とくに江南で豊かな郷紳層や商人を中心とする都市文化がうまれた。大衆芸能や出版が盛んになり、(7) 「四大奇書」などの小説が広く読まれた。また科学技術への関心が高まって、実学が発達し、薬学・植物学を解説した(8) の『本草綱目』、産業技術を図解した宋応星の『(9) 』などが刊行された。

こうした科学技術の発展には、東アジアに來航したキリスト教宣教師の活動も重要な役割をはたした。(10) マテオ＝リッチ、アダム＝シャルらイエズス会系の宣教師があいついで來航し、布教の手段として西洋の科学技術を伝えた。(11) はマテオ＝リッチとともにエウクレイデスの幾何学を翻訳し、また、アダム＝シャルとともに『崇禎曆書』を作成した。

- (C) この時代に仏教は帝室・貴族の保護をうけて栄え、『南海寄帰内法伝』を著した (7) のように仏典を求めてインドにおもむく僧も多かった。仏教はしだいに中国に根つき、浄土宗や禅宗などの新しい宗派も成立した。また西方との交流が盛んになると、ゾロアスター教やネストリウス派キリスト教、マニ教なども伝わり、首都 長安^②にはそれらの寺院もたてられた。^(d) とくに^(e) ササン朝の滅亡によって多くのイラン人が長安に移住し、胡服やボロ競技などイラン系風俗が流行した。

文学では、科学で詩作が重視されたこともあって、詩仙と称された (8) ，詩聖と称された杜甫、また王維や白居易（白楽天）などの詩人が活躍した。

問 1. 空欄 (1) ～ (8) にもっとも適切な語を記入せよ。

問 2. 下線部(a)～(e)について、以下の問いに答えよ。

(a) 徽宗に関する説明として、正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 開封に都をおいて建国し、文治主義の政治をおこなった。
- ㊧ オイラトのエセン＝ハンに土木堡でとらえられ、捕虜となった。
- ㊨ 南京を都として建国し、元の残存勢力を長城の北に追いやった。
- ㊩ 欽宗とともに金軍にとらえられて、北方につれ去られた。

(b) 「四大奇書」に含まれないのはどれか。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 『金瓶梅』 ㊧ 『紅樓夢』 ㊨ 『三国志演義』 ㊩ 『水滸伝』

(c) マテオ＝リッチに関する説明として、正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 乾隆帝に謁見したが、その際の儀礼が問題になった。
- ㊧ ヨーロッパの画法を紹介し、円明園の設計に加わった。
- ㊨ 日本にはじめてキリスト教を伝え、布教の基礎を築いた。
- ㊩ 地球球体説に基づいた世界地図「坤輿万国全図」をつくった。

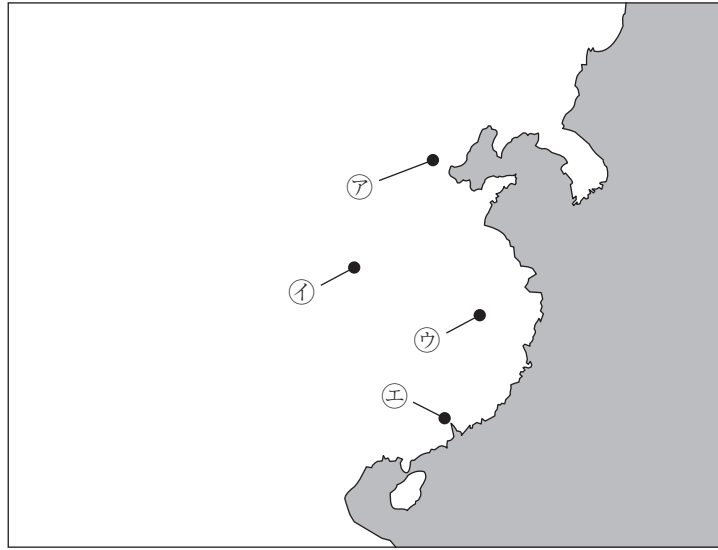
(d) ネストリウス派キリスト教は中国では何と呼ばれたか。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 回教 ㊧ 景教 ㊨ 祆教 ㊩ 道教

(e) ササン朝に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㊦ パルティアを倒して建国し、クテシフォンに首都をおいた。
- ㊧ ゾロアスター教を国教として、経典『アヴェスター』を編纂した。
- ㊨ ニハーヴァンドの戦いでイスラーム勢力に敗れ、その後に滅亡した。
- ㊩ シャープール 1 世の時代にエフタルを滅ぼし、ビザンツ帝国との戦いを優勢にすすめた。

問 3. 二重下線部①および②の位置はどこか。地図中の記号㉖～㉙から正しいものをそれぞれ一つずつ選べ。



問 4. 文章(A)～(C)を年代順に古いものからならべたものとして、正しいものを一つ選べ。

㉖ (A)→(B)→(C)

㉗ (A)→(C)→(B)

㉘ (C)→(A)→(B)

㉙ (C)→(B)→(A)

Ⅱ 次の文を読み、あとの設問に答えよ。(30点)

1598年にフランス王アンリ 4 世は (1) の王令(勅令)でユグノーにも大幅な信教の自由を与えて、ユグノー戦争を終わらせた。しかし、「太陽王」とも呼ばれる (2) は、信仰の統一をはかるため1685年に (1) の王令を廃止した。これにより、弾圧されたユグノーの商工業者が新教国へ移住し、フランス経済は打撃をうけた。その後、度重なる戦争による国家財政のいきづまりや啓蒙思想の影響などから、^(a)ルイ16世の治世にフランス革命が生じた。

1792年には男性普通選挙によって新たに (3) が成立し、王政廃止と共和政が宣言された。1793年1月にルイ16世が処刑され、(3) では急進共和主義のジャコバン派が権力をにぎった。その中心人物である (4) は反対派を多数処刑し、いわゆる恐怖政治をおこなった。また、この時期に、自由と平等の理念のもと、グレゴリウス暦にかわって (5) が制定された。しかし、1794年7月、テルミドール9日のクーデタで (4) は権力を失った。その後、総裁政府が成立するも、社会不安は続いた。こうしたなかで、^(b)ナポレオン＝ボナパルトが頭角をあらわした。1799年11月9日、ブリュメール18日のクーデタで統領政府を樹立し、みずからを第一統領として事実上の独裁権をにぎった。1804年には国民投票で圧倒的支持をうけて皇帝に即位し、ナポレオン 1 世と称した。ナポレオンはヨーロッパ大陸の大部分を支配下においたが、1812年にロシアに遠征して敗退した。これを機に、ヨーロッパ諸国は解放戦争にたちあがり、ライプツィヒの戦いでナポレオンを破り、1814年にはパリを占領した。

フランス革命以来のヨーロッパの混乱を收拾するため、ヨーロッパ諸国の代表が (6) に集まった。この会議を (6) 会議と呼ぶ。その結果、フランスではブルボン王家が復活し、ルイ18世が王位についた。1824年には (7) がフランス王となり、貴族や聖職者を重視する反動政治をおこなった。1830年に選挙で反政府派が圧勝すると、(7) は議会を未招集のまま解散した。こうしたことに抗議してパリで革命がおき、王は亡命した。オルレアン家の (8) が新たに王にむかえられ七月王政が成立するも、^(c)1848年の二月革命をうけ、フランスでは共和政の臨時政府が樹立された。しかし、同年4月の男性普通選挙によって成立した政府に対して、パリの労働者が蜂起し、鎮圧された。同年12月の大統領選挙では、ナポレオン 1 世の甥が当選し、1852年には国民投票で皇帝となり、^(d)ナポレオン 3 世と称した。

1870年にナポレオン 3 世はプロイセン＝フランス戦争に敗れ、フランスは再び共和政となる。^(e)この時期から1940年までのフランスの政体を第三共和政と呼ぶ。第三共和政期には、学校をつうじた国民教育を重視するとともに、積極的な対外進出をはかった。1890年代のユダヤ系軍人 (9) の冤罪事件 ((9) 事件) では、共和政をめぐる国論が二分した。また、1905年の (10) 法により国家の宗教的中立が定められた。

問 1. 空欄 (1) ～ (10) にもっとも適切な語を記入せよ。

問 2. 下線部(a)～(e)について、以下の問いに答えよ。

(a) ルイ16世が財務総監に起用した人物は誰か。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ マザラン ㊧ テュルゴ(一) ㊨ カヴール ㊩ コルベール

(b) ナポレオン=ボナパルト（ナポレオン1世）に関する説明として、正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 国威を高めるために、パリで万国博覧会を開催した。
㊧ トラファルガーの海戦でイギリス海軍を破った。
㊨ イギリスとともにアロー戦争をおこした。
㊩ 私有財産の不可侵など、革命の成果を定着させる民法典を公布した。

(c) 1848年に生じたヨーロッパの出来事に関する説明として、正しいものを一つ選べ。

- ㊦ ウィーンでは三月革命がおき、メッテルニヒが失脚した。
㊧ ロシアのアレクサンドル2世が農奴解放令を出した。
㊨ イタリア王国が成立し、ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世が王位についた。
㊩ ベルギーがオランダから独立して、王国となった。

(d) ナポレオン3世に関する説明として、正しいものを一つ選べ。

- ㊦ ユトレヒト条約を結び、孫をスペイン王位につけた。
㊧ プラッシーの戦いでイギリスに敗北した。
㊨ クリミア戦争ではオスマン帝国を支援した。
㊩ 南大西洋のセントヘレナ島に流された。

(e) この間のヨーロッパの出来事に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㊦ イギリスでは、グラッドストン内閣がアイルランド自治法案を提出した。
㊧ ロシアでは、ストルイピンが独立自営農（自作農）を育成しようとした。
㊨ イタリアでは、ムッソリーニが教皇庁（ヴァチカン市国）の独立を認めた。
㊩ ドイツでは、ヒンデンブルクがラインラントに軍隊を進駐させた。

Ⅲ 経済史に関する次の文章(1)～(5)には、下線部が正しいものと正しくないものがある。正しいものについては㉗を、正しくないものについては㉘～㉛からもっとも適切なものを選び。 (30点)

(1) 地中海東岸では、前12世紀頃からアッカド人がシドンやティルスなどの港市国家を拠点に東地中海の貿易を独占し、北アフリカからイベリア半島にかけて、カルタゴをはじめとする多くの植民市を建設した。

- ㉘ アラム ㉙ フェニキア ㉚ アムル ㉛ ヘブライ

(2) 前7世紀前半に全オリエントを征服したアッシリア王国が前612年に崩壊し、オリエント世界ではエジプトや新バビロニア（カルデア）などの4王国が分立することになった。このうち小アジアで建国されたミタンニでは、世界ではじめて金属貨幣がつくられた。

- ㉘ パルティア ㉙ メディア ㉚ リディア ㉛ イスラエル

(3) クシャーナ朝は2世紀半ばのカニシカ王の時代が最盛期であり、中央アジアからガンジス川中流域にわたる地域を支配し、東西交易をおさえた。この王朝は領内にもたらされる中国の絹や中央アジアの玉などをローマに輸出し、ローマから金貨を得ていた。

- ㉘ サータヴァーハナ ㉙ ヴアルダナ
㉚ マウリヤ ㉛ グプタ

(4) 4世紀頃、サハラ砂漠縦断にラクダが利用されるようになり、西アフリカと地中海沿岸のあいだの交易路が発展した。西アフリカでは金が豊富に産出され、特にサハラ産の綿布と金の取引が盛んにおこなわれるようになった。こうした交易を基盤として、この地域ではガーナ王国やマリ王国が栄えた。

- ㉘ ガラス器 ㉙ 毛織物 ㉚ 岩塩 ㉛ サトウキビ

(5) 東アフリカのインド洋沿岸には、8世紀頃からムスリム商人が象牙・黄金・奴隷などを求めて来航していた。10世紀以降、マリンディやトンブクトゥなどのアフリカ東海岸の港市にムスリム商人が住みつき、各都市はムスリム商人によるインド洋交易の西の拠点として繁栄した。

- ㉘ メロエ ㉙ チュニス ㉚ ガオ ㉛ モンバサ

- (6) 16世紀にスレイマン1世のもとで最盛期をむかえたオスマン帝国では、続くセリム2世の時代に、経済政策の一環としてフランスの商人に居住や通商の自由などが認められた。これらの特権は、タンジマートと呼ばれ、のちにイギリスやオランダの商人にも与えられた。

- (7) 1623年にアユタヤで多数のイギリス商館員がオランダ人によって殺害された。この事件以後、イギリスはインド経営に力をそそぐようになり、マドラス（現在のチェンナイ）・ボンベイ（現在のムンバイ）・カルカッタ（現在のコルカタ）を拠点として活発に通商活動を展開した。

- (8) アメリカ大陸のスペイン植民地では、征服当初は植民者に先住民の支配を委託するエンコミエンダ制がしかれ、大農園や鉱山で先住民が酷使された。17世紀前半から、イクター制と呼ばれる大土地所有に基づく農園経営が広がり、大農園主は負債をかかえた農民（ペオン）を使って、農業や牧畜を営んだ。

- (9) 19世紀前半のタイはヨーロッパ諸国に対して閉鎖的であったが、19世紀後半のラーマ4世の時代に王室による貿易独占から自由貿易に転換すると、デルタ地帯の水田開発がすすんだ。1880年代にはシハヌーク（ラーマ5世）により近代化政策（チャクリ政策）が推進され、鉄道の敷設や郵便局制度の導入がおこなわれた。

- (10) アメリカ合衆国の西部では、1860年前後からネヴァダやコロラドなどで金・銀の採掘が始まり、さらに牧畜業や小麦生産が発達した。南北戦争中にジャクソンは西部農民の支持を得るために、自営農民に無償で農地を提供する自営農地法（ホームステッド法）を制定した。これにより西部への入植者が増加した。

(11) 独立後のメキシコでは、19世紀半ばにフアレス大統領によって土地改革が断行されたが、保守派の反乱をまねき、これに乗じてフランス・イギリス・スペインは軍事介入した。この外国軍への抵抗運動で活躍したディアスは、1877年に大統領に就任し、長期独裁をしき、鉱山開発をはじめ外国資本を導入して経済発展をはかった。

- ① イダルゴ ㊦ バティスタ ㊥ マデロ ㊧ サパタ

(12) ロシアでは、ボリシェヴィキが1917年にソヴィエト政権を樹立した。ソヴィエト政府は農民反乱や英・仏の対ソ干渉戦争に直面したため、政治と経済を統制する戦時共産主義を実施した。しかし、農業や工業の生産性が低下し、多数の餓死者が出る深刻な事態をまねいたため、ソヴィエト政府は1921年に第1次五カ年計画へと転換し、食糧の強制徴発を廃止し、余剰穀物の自由販売を認めるなど政府による統制をゆるめた。

- ① ドイモイ ㊦ グラスノスチ
㊥ ペレストロイカ ㊧ 新経済政策（ネップ）

(13) 世界恐慌の混乱のなかで、アメリカ合衆国大統領に就任したフランクリン＝ローズヴェルトは、経済への政府の介入を強化するニューディールと呼ばれる経済復興政策を実行し、農業調整法（AAA）や全国産業復興法（NIRA）などを制定した。しかし、こうした産業の統制は独占資本の強化をもたらし、労働者の不満が高まると、1935年には工場法によって労働者の団結権と団体交渉権を認めた。

- ① ローラット ㊦ シャーマン
㊥ カンザス＝ネブラスカ ㊧ ワグナー

(14) 第二次世界大戦後の国際金融と経済面における国際的な協力体制を築くために、1944年7月にアメリカ合衆国でサンフランシスコ会議が開かれ、ドルを中心とする世界経済体制が構想された。この会議において、国際通貨基金（IMF）と国際復興開発銀行（世界銀行、IBRD）の設立が合意された。

- ① ダンバートン＝オークス ㊦ ワシントン
㊥ パン＝アメリカ ㊧ ブレトン＝ウッズ

- (15) 1970年にトルコの大統領となったサダトは、1973年にシリアとともにイスラエルを攻撃し、第4次中東戦争が始まった。これをうけて、アラブ石油輸出国機構（O A P E C）はイスラエルを支援する諸国への原油輸出を停止または制限し、石油輸出国機構（O P E C）は原油価格の大幅引き上げを決定したことにより、安価な石油に依存してきた先進国経済は深刻な打撃を受けた。

① モロッコ

② イラク

③ エジプト

④ イラン